

令和5年度県立森川特別支援学校 自己評価表 (院内学級職員) 集計 総数15

※【評価値】 A：達成できた、 B：ほぼ達成できた、 C：やや改善が必要、 D：改善が必要

評価項目	具体的方策	A	B	C	D
教育目標	1 本校の教育目標を理解し、児童生徒の実態に即した具体的な教育目標を設定している	6	8	1	0
	2 児童生徒の実態に応じた適切な教育課程が編成されている	7	8	0	0
教育計画	3 個別の教育支援計画は、本人、保護者の願いを踏まえ、適切な教育的ニーズが設定されている	5	6	4	0
	4 個別の教育支援計画が、日々の教育実践で活用されている	3	4	6	2
	5 年間指導計画は、学部内・学部間で一貫・継続した指導ができるよう系統的に作成されている	3	10	2	0
	6 各教科等の指導の重点は、学習指導要領に沿っている	5	10	0	0
教科等の指導	7 授業内容の理解促進のため、児童生徒に応じた配慮・工夫が行われている	8	7	0	0
	8 教材の精選、授業時数の確保等、学習保障への工夫がなされている	7	8	0	0
	9 実践的・体験的な活動を通して、児童生徒が主体的に学習活動に取り組めるよう工夫している	4	10	1	0
自立活動	10 個々の児童生徒の実態に即した内容が、計画的に実施されている	4	10	1	0
	11 個々の児童生徒の実態、目標の共有、指導体制の構築等において、職員の協働・連携が図られている	6	7	2	0
総合的な学習	12 ねらいや指導内容は、児童生徒の興味・関心に即したものとなっている	3	11	1	0
道徳教育	13 道徳教育の全体計画を作成し、職員相互の共通理解や指導体制の連携を図っている	3	7	5	0
特別活動	14 児童生徒が、自主的で楽しく活動を進められるよう指導している	10	5	0	0
学校・学部行事	15 事前・事後指導を十分行い、児童生徒の実態に即した内容となっている	6	9	0	0
ICT活用	16 ICTの活用について、学びの深化・定着や自立活動等、学習指導や支援の充実に向け、積極的に取り組まれている	11	4	0	0
支援部・教育相談	17 適宜、関係者、関係機関等と連携し児童生徒及び保護者の支援に努めている	10	5	0	0
	18 特別支援教育のセンター的機能の充実に努めている	8	6	1	0
生徒支援	19 児童生徒会の活動は充実している	4	8	2	1
安全指導 (保健安全)	20 病気理解と健康管理（健康の保持増進や体力の向上）について意識づけを行い、健康的な生活習慣の確立に向け取り組んでいる	7	8	0	0
	21 災害時及び緊急時等に適切な対応ができるような体制が整っている	6	5	3	1
キャリア教育・進路指導	22 児童生徒の将来に向けて、計画的、系統的に進路の指導・支援が行われている	4	11	0	0

交流及び共同学習	23	児童生徒の個々のニーズを踏まえた交流が行われている	6	8	1	0
図書室の教育活動	24	図書だよりや本の紹介、掲示板等を通して、児童生徒の興味関心を高める工夫がされている	10	5	0	0
校内研修	25	指導・支援上の課題解決に資するよう、適切に取り組まれている	8	7	0	0
家庭、地域社会等との連携	26	医療機関と日頃から児童生徒の病状に応じた相談や対応等の連携を図っている	13	2	0	0
	27	学習活動、支援の充実に向け、保護者、関係機関等と適切に連携している	11	3	1	0
職員の協働・連携	28	教育活動、分掌業務において、職員の協働・連携が図られている	8	7	0	0
人権教育	29	児童生徒に対する不適切な言動や不適切な指導等の実態把握に努め、早期発見早期対応に努めているか。	8	6	1	0
PTA	30	PTA活動、諸行事を通して、保護者と協力し教育活動の充実を努めている	6	8	1	0
施設・設備等	31	教育活動のため施設・設備は整備されている	4	7	4	0
	32	教育活動のため教材・教具や図書等の充実が図られている	4	7	4	0
備品管理	33	教育活動を効果的に行うために、教材教具等を有効に活用し、整理・保管等が適切になされている	6	7	2	0

※ご意見その他お気づきの点がありましたら、記入をお願いします。（特に教員の多忙化を防ぐために取り組んでいること、または学校として取り組んで欲しいこと）

・ teamsの活用がしやすくなり、職員間の連絡が円滑になっているように思います。  
 ・ KUBIが2台になったおかげで原籍と繋がるが増えました。クロムを使っの交流もしやすくなっています。  
 ・ 医教連絡会をもったことでこども医療は退院手続きに関する資料を早く手に入るようになりました。また、冷蔵庫の配備も有難うございます。 ・ コロナ禍が空けてきたとは言え院内では未だ感染症に対する警戒感が続いています。校長の早めの（対応マニュアル）は助かります。ありがとうございます。  
 ・ 分掌編成等により多忙とを感じる職員が減ると良いなと思います。分掌の割り振り合体等もおおるかと思いますが、同じ分掌を継続することで、負担軽減もあると思います。  
 ・ 校内研修で仕事の効率化のグループができて良かった。また、研修を通して動くことが出来て良かった。